



TARA

Life Science Center of
Tsukuba Advanced Research Alliance

生物資源学類 バイオサイエンストピック 共催

TARA Seminar

15:15~16:30, Tue. Aug 2nd, 2016
Seminar room, Building A, TARA Center

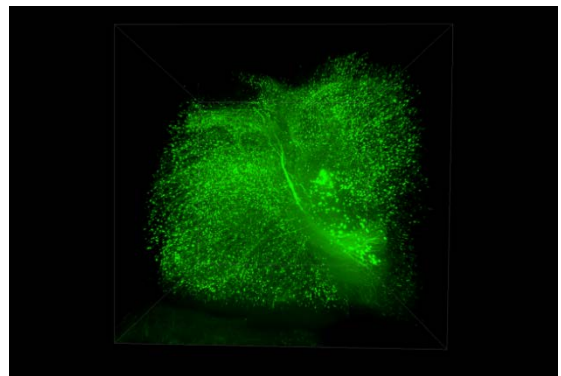
Kana Namiki, Ph.D.
並木 香奈 先生

Laboratory for Cell Function Dynamics, RIKEN Brain Science Institute
理化学研究所脳科学総合研究センター, 細胞機能探索技術開発チーム

最先端 *in vivo* イメージングが解き明かす生体情報 —透明化技術とその実践— 3D visualization using optical clearing method

近年、様々な組織透明化法が開発されています。組織透明化法を蛍光タンパクの遺伝子導入技術や抗体染色法と組み合わせることで、様々な方向から様々な厚さで「光学的にスライス」し、**組織を機械的に切らずに深部の3次元構造を高精細に可視化**することが可能になります。そのため、細胞同士の複雑な3次元構造から脳の広範囲にわたる神経回路の解析へ組織透明化法を応用することへの期待が高まっています。

一方で、次々と開発される組織透明化法には様々な技術上のトレードオフが存在するため、目的に応じて透明化法を使い分けることが求められます。本セミナーでは、透明化技術全般と私たちが開発している「**Scales**」を用いた*in vivo*イメージングについてお話しさせていただきます。



Organizer; Prof. Akiyoshi Fukamizu <akif @ tara.tsukuba.ac.jp>

University of Tsukuba

